

# 農作業特報

令和4年7月9日  
魚津市  
魚津市農業技術者協議会

コシヒカリ（5月12日田植え）の幼穂形成期（幼穂の長さが2mmの頃）は、平年より5日早い7月7日頃とみられます。

今後は、生育状況や気象等に留意して、穂肥施用や病害虫防除を的確に行いましょう。

◇幼穂形成期頃のコシヒカリの生育状況（6カ所平均）

	草丈 (cm)	茎数(本)		葉色	葉齢 (葉)	幼穂 形成期
		株当たり	m <sup>2</sup> 当たり			
今年	72.0	27.1	554	4.1	11.5	7月7日
昨年	76.3	21.7	431	4.0	12.7	7月13日
平年	70.8	24.1	477	4.0	12.1	7月12日

今年：7月5日調査  
昨年：7月13日調査  
平年：過去10年間の平均値

## 1 コシヒカリの穂肥 ～生育状況をもて慎重に施用～

【分施肥系（平坦地、5月中旬植え）の場合】

施用時期	幼穂の長さ	草丈	葉色	肥料名	施用量
7月15日頃	1.5cm	82cm以下	3.6	追肥3号	10kg/10a 以内

※中山間地域や5月下旬以降の田植えを行ったほ場は、施用時期が異なります。

(1) ほ場によって生育の進みが違うので、幼穂長(1.5cm)を必ず確認して、施用しましょう。

幼穂長1.5cmを確認する



(2) 穂肥施用時に草丈が長い(82cm以上)場合や、葉色が濃い(3.8以上)場合は、施用を3日程度遅らせましょう。

株の中で一番長い草丈の茎を根元から抜き取る。ほ場ごとに5株程度、幼穂の長さを確認する。

(3) 2回目の追肥は、1回目の7日後に追肥3号で10～13kg/10a施用しましょう。

【基肥一発肥料を使用したほ場で、葉色が薄い場合】

●穂肥を追加施用しましょう。

【追加穂肥の目安】

出穂10～7日前(7月19日～22日頃)に葉色が4.0未満(砂壤土は4.2未満)

施肥する!!

【肥料名と時期】

追肥3号  
5～10kg/10a

※遅くとも7月26日頃までに施用しましょう。

熱中症予防のため、こまめな水分補給と適度な休憩を取り、適切な体調管理に努めてください。

## 2 出穂期までの水管理 ～適正な葉色へ誘導する～

幼穂形成期以降、飽水管理（足跡に水が残る程度）で、水田が乾き過ぎにならないよう注意しましょう。また、水を溜めっぱなしにするのも厳禁です。

## 3 病害虫防除

斑点米カメムシ類による被害を防ぐため、品種や生育に応じて適期防除を徹底しましょう。早生品種や斑点米カメムシ類が多発の時は被害を受けやすいので、追加防除を行いましょう。

また、畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。

散布間隔は7日間が目安です(10日以上あけないようにしましょう)。

注) 防除月日は、管内の標準的なほ場の目安です。各ほ場の生育に応じて防除願います。

【基本防除の目安】

○ 粉剤及び液剤を使用する場合

散布時期	品種	防除月日の目安	剤型	農薬名	散布量(10a)	使用基準(収穫前)	
基本防除	1回目 穂ばらみ期	早生	7月8日頃まで	粉剤	モンセレン粉剤DL	4kg	21日前まで
		中生	7月20日頃	液剤	モンカットフロアブル	1,500倍、100%	14日前まで
			適用病害虫		紋枯病		
	2回目 穂揃期	早生	7月20日頃	粉剤	ラブサイドスタークル粉剤DL	4kg	7日前まで
		中生	8月1日頃	液剤	ラブサイドスタークルフロアブル	500倍、100%	
			適用病害虫		いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ		
3回目 傾穂期	早生	7月27日頃	粉剤	キラップ粉剤DL	4kg	14日前まで	
	中生	8月8日頃	液剤	キラップフロアブル	1,000倍、100%		
		適用病害虫		カメムシ類、ウンカ類など			
(追加)	(4回目)	早生	8月3日頃	粉剤	トレボン粉剤DL	4kg	7日前まで
		中生	8月15日頃	液剤	トレボン乳剤	2,000倍、100%	14日前まで
		適用病害虫		カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イナゴ類など			

- ・風向きや風力、散布量などに注意し、周辺の作物や住宅地などへの飛散防止に努めてください。
- ・農薬は基準量を守って使用し、散布後速やかに栽培履歴に記録しましょう。

○ 微粒剤Fを使用する場合

防除時期の目安(中生品種)	農薬名(対象病害虫)	散布量(10a)	使用基準(収穫前)
穂揃期 8月1日頃	サジェスト微粒剤F (いもち病、紋枯病、カメムシ類など)	4kg	21日前まで
傾穂期 8月8日頃	キラップ微粒剤F (カメムシ類、ウンカ類など)	4kg	14日前まで

・市街地、公共施設周辺など、粉剤や無人ヘリコプターなどによる散布が困難な地域でご使用ください。

※畦畔やほ場周辺の雑草地の草刈りは、本田防除前に終わらしましょう。

また、草刈り後はできるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょう。